



2020年3月期 決算説明会

2020年6月26日（金）

 **高島株式会社**



1. 本説明会内容について

2. 2020年3月期 決算概況

2-1. 連結業績

2-2. セグメント別概況

2-3. 配当性向推移

3. 中期経営計画「サステナ2020」結果報告

3-1. 中期経営計画「サステナ2020」概要

3-2. 中期経営計画「サステナ2020」最終年度数値

3-3. 中期経営計画「サステナ2020」重点戦略

3-4. 中期経営計画「サステナ2020」重点戦略の成果

1. 本説明会内容について

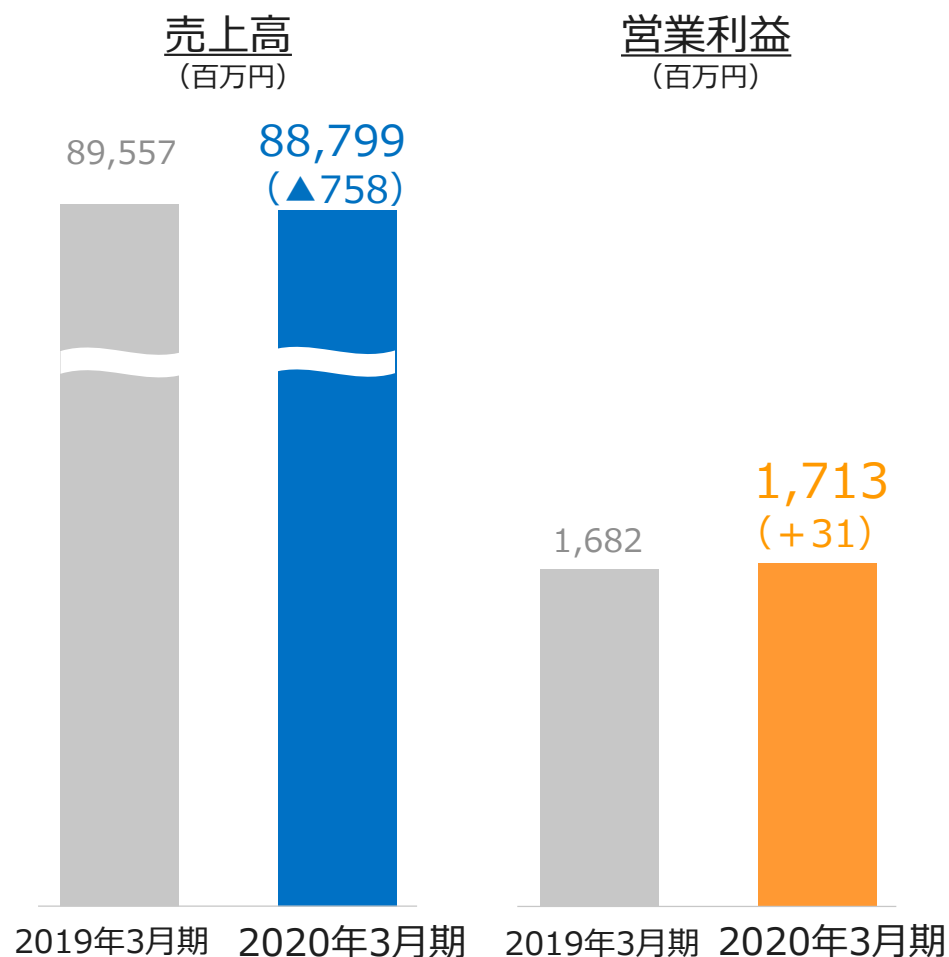
- ・新型コロナウイルス感染症が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難な状況にある為、予定しておりました新中期経営計画・2021年3月期の業績予想・次期配当を未定とさせていただきます。
- ・新型コロナウイルス感染症による業績への影響を折り込んだ上、然るべき時期に公表いたします。

2. 2020年3月期 決算概況

2-1. 連結業績_売上高・営業利益



売上高、営業利益ともに横ばい



売上高

88,799百万円
(前年同期比 99.2%)

営業利益

1,713百万円
(前年同期比 101.8%)

2-1. 連結業績_経常利益・当期純利益



経常利益は減益も、当期純利益は増益

経常利益
(百万円)

当期純利益
(百万円)

経常利益

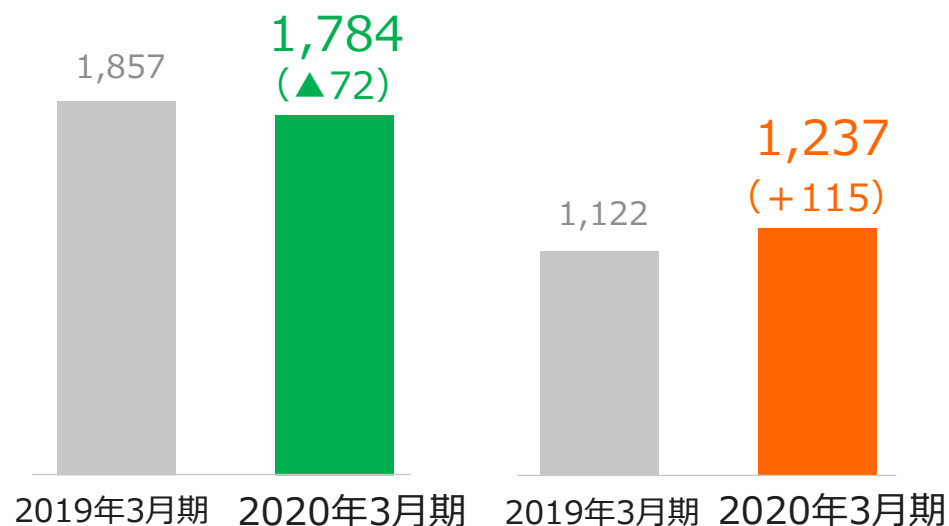
1,784百万円

(前年同期比 96.1%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,237百万円

(前年同期比 110.3%)



2-1. 連結業績_PL概況



- ・ 2020年3月に発生した当社連結子会社シーエルエス株式会社における近隣工場火災から延焼した外部委託倉庫の火災事故の影響による特別損失を計上も、当社連結子会社小野産業株式会社（現 タクセル株式会社）における火災保険金受領による特別利益の計上等により当期純利益は増加

(単位：百万円)

| 科目 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 増減額 | 前期比 |
|---------------------|----------|---------------|------|--------|
| 売上高 | 89,557 | 88,799 | ▲758 | 99.2% |
| 売上総利益 | 8,256 | 8,507 | +251 | 103.0% |
| 販売費及び一般管理費 | 6,574 | 6,794 | +219 | 103.3% |
| 営業利益 | 1,682 | 1,713 | +31 | 101.8% |
| 営業外損益 | 174 | 71 | ▲103 | 40.6% |
| 経常利益 | 1,857 | 1,784 | ▲72 | 96.1% |
| 特別損益 | ▲109 | 29 | +138 | — |
| 税金等調整前 当期純利益 | 1,747 | 1,813 | +65 | 103.8% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,122 | 1,237 | +115 | 110.3% |

2-1. 連結業績_BS概況

固定資産は投資有価証券時価下落により減少

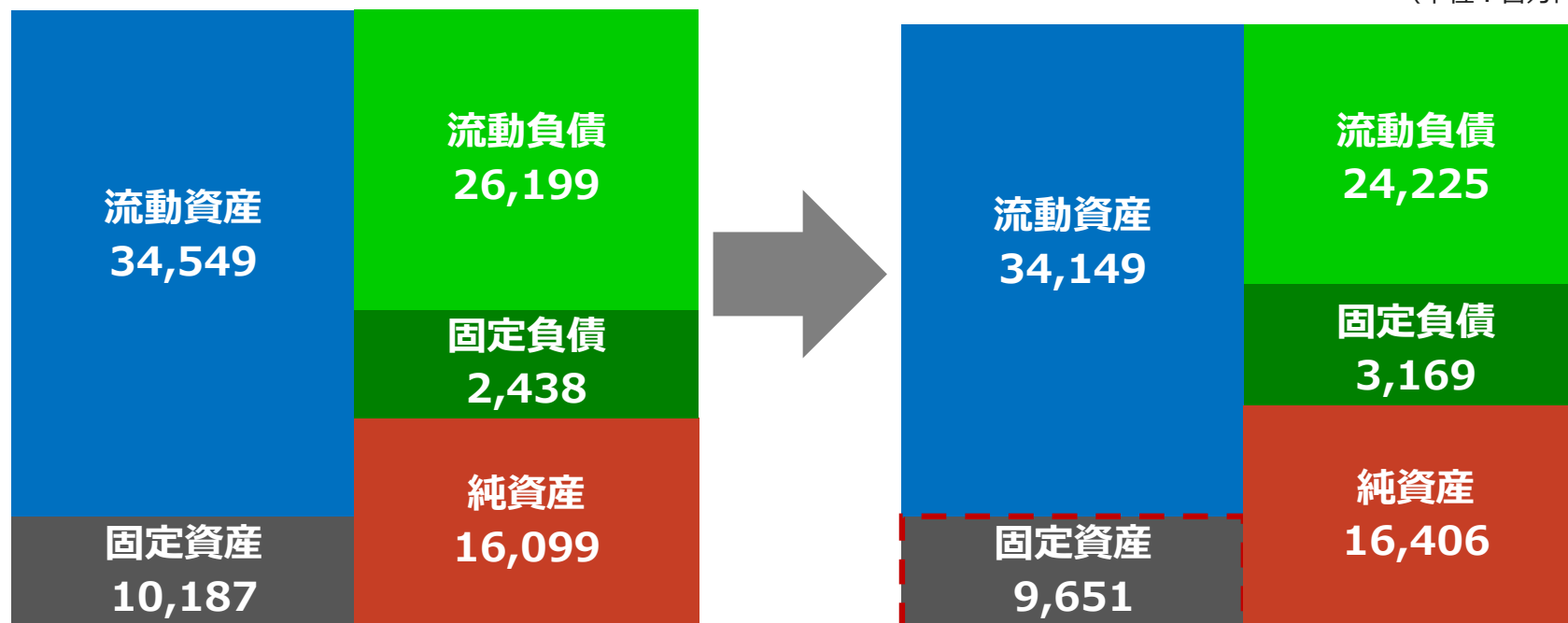
前連結会計年度
(2019年3月31日)

総資産：44,736百万円
自己資本比率：36.0%

当連結会計年度
(2020年3月31日)

総資産：43,800百万円
自己資本比率：37.5%

(単位：百万円)



2-1. 連結業績_CF



営業CFは、税金等調整前当期純利益の計上によりプラス
投資CFは、有形固定資産の取得、関係会社株式取得によりマイナス
財務CFは、短期借入金金の減少、配当金の支払いによりマイナス

(単位：百万円)

| 科目 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 増減額 |
|------------------|----------|---------------|--------|
| 営業キャッシュフロー | 384 | 3,018 | +2,634 |
| 投資キャッシュフロー | 504 | ▲594 | ▲1,098 |
| 財務キャッシュフロー | ▲289 | ▲1,108 | ▲818 |
| 現金及び 現金同等物の残高 | 3,077 | 4,416 | +1,338 |

2-2. セグメント別概況_建材（売上高・営業利益）



売上高は横ばいも、営業利益は減益

売上高
(百万円)

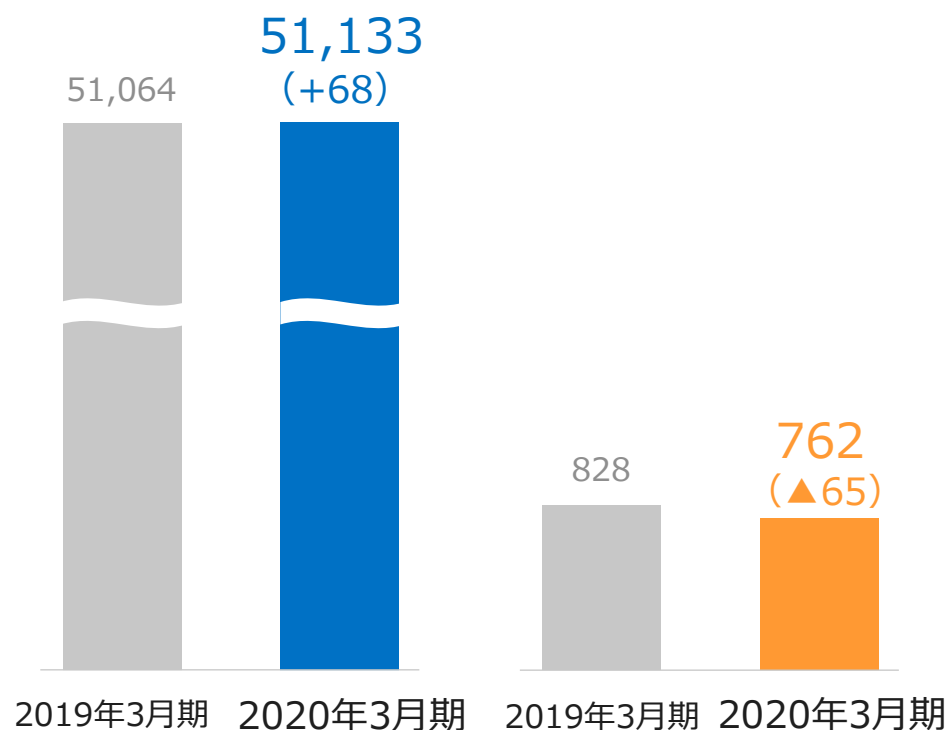
営業利益
(百万円)

売上高

51,133百万円
(前年同期比 100.1%)

営業利益

762百万円
(前年同期比 92.1%)



2-2. セグメント別概況_建材（分野別売上高）



建設資材分野 : 建設関連市場が堅調に推移し、増収
 太陽エネルギー分野 : 太陽エネルギー市場が低調に推移し、減収

(単位：百万円)

| 分野 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 増減額 | 前年比 | 要因 |
|---------|----------|---------------|------|--------|-----------------------------|
| 建設資材 | 38,283 | 38,987 | 704 | 101.8% | ・各種建設需要は堅調に推移 |
| 太陽エネルギー | 12,780 | 12,145 | ▲635 | 95.0% | ・固定買取価格の引き下げ等の影響により低調に推移 |
| 合計 | 51,064 | 51,133 | 68 | 100.1% | ・太陽エネルギー分野の減少を建設資材分野にて賄い、増収 |

2-2. セグメント別概況_産業資材（売上高・営業利益）



売上高は減収も、営業利益は増益

売上高
(百万円)

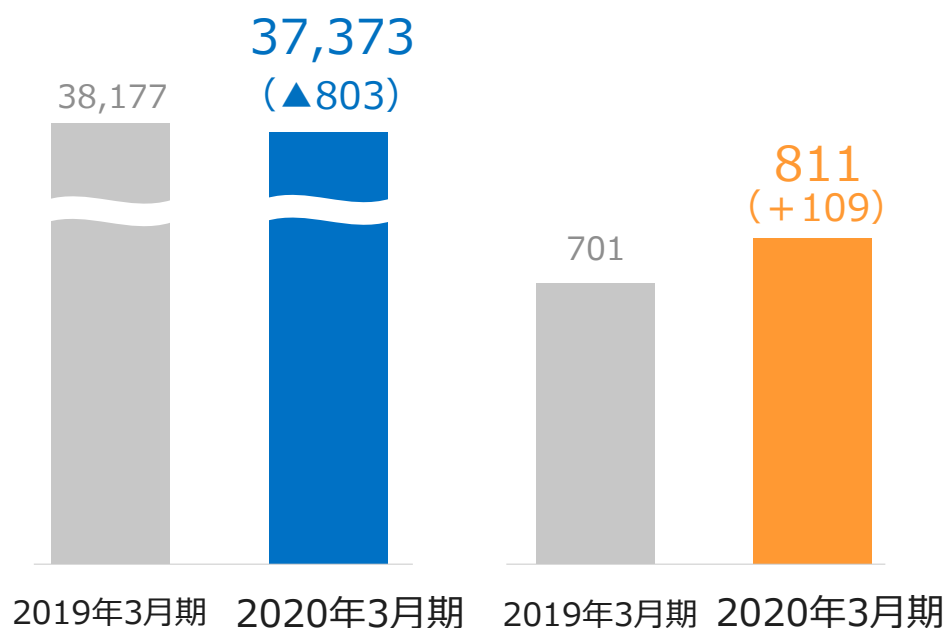
営業利益
(百万円)

売上高

37,373百万円
(前年比 97.9%)

営業利益

811百万円
(前年比 115.7%)



2-2. セグメント別概況_産業資材（分野別売上高）



繊維関連分野等での売上減少を電子部品関連分野での売上増加にて賄ったが、
産業資材セグメント全体では減収

(単位：百万円)

| 分野 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 増減額 | 前年比 | 要因 |
|------|----------|---------------|------|--------|-------------------------------|
| 樹脂 | 8,377 | 7,856 | ▲521 | 93.8% | ・真空成型品（スマホ向け等）が減少 |
| 機能資材 | 1,873 | 1,720 | ▲153 | 91.8% | ・工業資材、冷媒ガスが減少 |
| 繊維 | 12,937 | 12,257 | ▲679 | 94.7% | ・アパレル関連市場低迷により減少 |
| 車輻部材 | 1,756 | 1,684 | ▲71 | 95.9% | ・海外車輻向け部材が低調 |
| 電子部品 | 13,231 | 13,854 | 622 | 104.7% | ・個別顧客需要を取り込み堅調に推移 |
| 合計 | 38,177 | 37,373 | ▲803 | 97.9% | ・電子部品分野で増収も繊維関連分野等での売上減少により減収 |

2-2. セグメント別概況_賃貸不動産（売上高・営業利益）

2018年8月売却の保有賃貸不動産の影響等により
売上高・営業利益共に減収減益

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

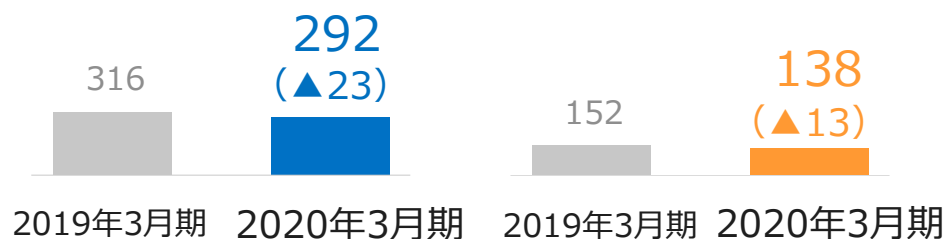
292百万円

(前年比 92.5%)

営業利益

138百万円

(前年比 91.1%)



2-2. セグメント別概況_サマリー



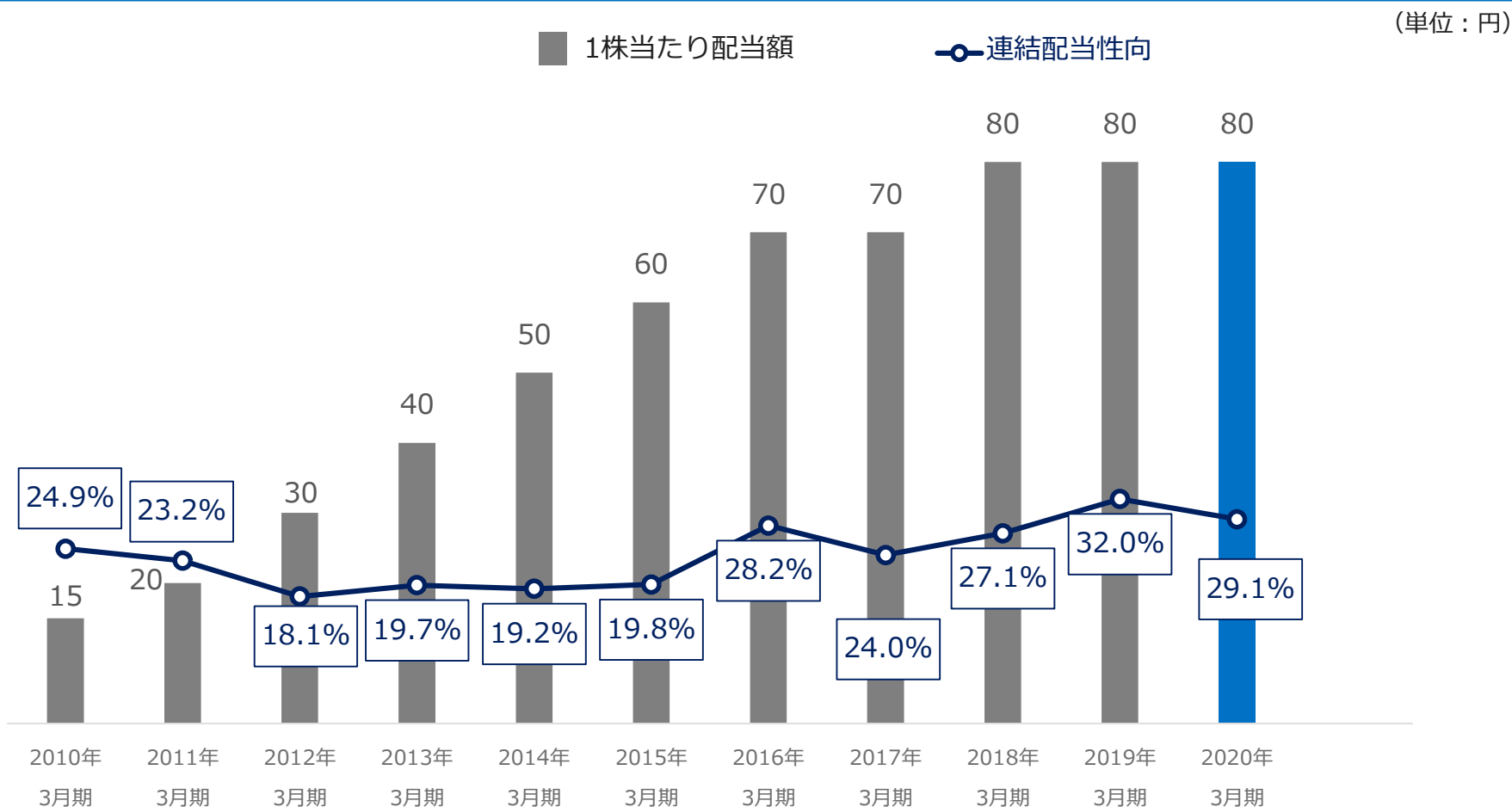
各分野において売上確保を図り、全体として売上高・営業利益は横ばい

(単位：百万円)

| セグメント | 科目 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 増減額 | 前年比 |
|-------|------|----------|---------------|------|--------|
| 建材 | 売上高 | 51,064 | 51,133 | +68 | 100.1% |
| | 営業利益 | 828 | 762 | ▲65 | 92.1% |
| 産業資材 | 売上高 | 38,177 | 37,373 | ▲803 | 97.9% |
| | 営業利益 | 701 | 811 | +109 | 115.7% |
| 賃貸不動産 | 売上高 | 316 | 292 | ▲23 | 92.5% |
| | 営業利益 | 152 | 138 | ▲13 | 91.1% |
| 合計 | 売上高 | 89,557 | 88,799 | ▲758 | 99.2% |
| | 営業利益 | 1,682 | 1,713 | +31 | 101.8% |

2-3. 配当性向推移

2020年3月期配当は当初公表通りの80円



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2016年度以前の1株当たり配当額は、株式併合後の金額で表示

3. 中期経営計画「サステナ2020」 結果報告

3-1. 中期経営計画「サステナ2020」 概要



中期経営計画「サステナ2020」—テーマと計数目標—

テ
ー
マ

持続的成長を継続するための
事業構造・ポートフォリオ転換

計最
数終
目年
標度

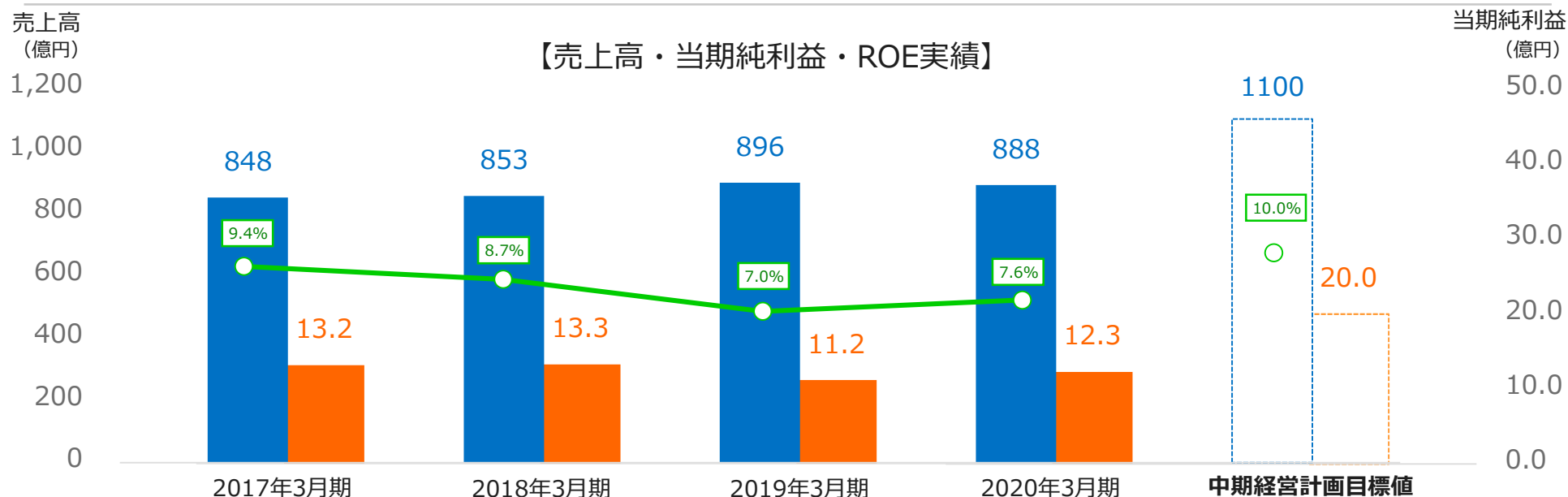
| | |
|---------------------|----------|
| 売 上 高 | 1,100 億円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 20 億円 |
| R O E | 10%以上 |

3-2.中期経営計画「サステナ2020」 最終年度数値



中期経営計画目標値には全ての項目で未達

| | 2020年3月期 最終計数目標値 | 2020年3月期 業績結果 | 差異 | 達成率 |
|---------|---------------------|------------------|--------|-------|
| ■ 売上高 | 1,100億円 | 888億円 | ▲212億円 | 80.7% |
| ■ 当期純利益 | 20.0億円 | 12.3億円 | ▲7.6億円 | 61.9% |
| ○ ROE | 10.0% | 7.6% | ▲2.4% | - |



中期経営計画「サステナ2020」—重点戦略—

ダントツ戦略

M&A推進

生産性向上

コーポレート・
ガバナンス強化

4つの重点施策は着実な成果を得始めている

重点施策の成果

ダントツ戦略

- 戦略3領域『省エネ』『軽量化』『省力化』に対し、『開発提案力』と『複合完結力』の**機能を提供**

◆3領域に対して製造、施工管理、購買代行など、多様な機能提供
-デバイス事業でのグローバル調達による購買省力化支援
-太陽光システム、断熱材拡販による省エネ化支援 等

M&A推進

- 新規事業領域の拡大と付加価値機能の強化**

株式会社レスト:トイレブース製造・施工会社参画による、
内装リニューアル工事分野への参入と付加価値機能強化

生産性向上

- システム化等生産性の向上による**コスト競争力の獲得**

◆申請類のワークフロー化、RPA導入等IT化による効率化推進
◆業務生産性改善の為にアプリケーションシステム積極導入等

コーポレート・ガバナンス強化

- コーポレートガバナンス・コードの諸原則を踏まえ、より充実した**攻めのガバナンス体制の構築**

◆監査等委員会設置会社移行
◆社外取締役、執行役員増員
◆親会社取締役会、経営会議の実効性向上

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。